

安全報告書

2013年(平成25年)版

三陸鉄道株式会社

この報告書は、鉄道事業法に基づき公表するものです。

社 員 行 動 指 針

【安全、安心の提供】

私たちは、安全の確保を最優先し、お客様に安心して利用いただける鉄道運行を行います。

【お客様の満足度の向上】

私たちは、常にお客様の視点に立って、満足いただけるサービス・商品の提供に努めます。

【地域振興への貢献】

私たちは、地域の皆様や関係機関と力をあわせ、産業振興や地域の活性化に貢献します。

【社会的責任の遂行】

私たちは、地域の一員としての自覚を持ち、明るく住みやすい社会の実現のために行動します。

【社員力の向上】

私たちは、常に問題意識を持ちながら自己研さんに努め、必要な変革に挑戦します。

目 次

1	社長からのメッセージ	1
2	安全基本方針と安全目標	
2-1	安全基本方針	2
2-2	安全目標	2
3	安全管理	
3-1	安全管理体制	3
3-2	安全管理方法	4
4	安全重点施策	
4-1	保安・防災対策	4
4-2	車両の安全性向上	4
5	安全対策の実施状況	
5-1	防災対策	5
5-2	社員教育	6
5-3	その他	7
6	輸送の安全の実態	
6-1	運転事故等の発生状況	8
6-2	災害等の発生状況	8
7	お客様とのコミュニケーション	9

社長からのメッセージ

一昨年の東日本大震災以降、多くの皆様から様々なご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

震災により三陸鉄道は、甚大な被害を受けましたが、国や県、沿線市町村のご支援により順調に復旧工事を進めています。

平成24年4月1日に運転を再開した北リアス線の田野畑～陸中野田駅間に続き、平成25年4月3日には南リアス線の盛～吉浜駅間で運転を再開することができました。これで運転区間は北リアス線の85%、南リアス線の59%、全線の76%になり、列車本数も49本となりました。

残る南リアス線の吉浜～釜石駅間と北リアス線の小本～田野畑駅間につきましても、平成26年4月の運行再開を目指し、順次工事を進めています。

私たちは、沿線市町村と連携しながら、三陸沿岸地域の復興に寄与することが私たちの使命と考えています。そのため1日も早い全線での運転再開に向けて社員一丸となって取り組んでいます。

平成24年度も安全目標として掲げていた「鉄道運転事故ゼロ」「重大インシデントゼロ」を達成することができました。

三陸鉄道は地域の皆様に、また観光に訪れるお客様に「安心」を提供するため、これからも「安全」を最優先とする企業風土の確立に努めてまいります。

どうぞこれからも変わらぬご理解、ご支援をお願いします。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、平成24年度に実施した安全確保のための取り組みや鉄道運転事故・輸送障害の発生状況等について報告するものです。

ご一読いただき、ご意見ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
望月正彦



復旧区間を走る新車両 36-700 形



お座敷列車北三陸号

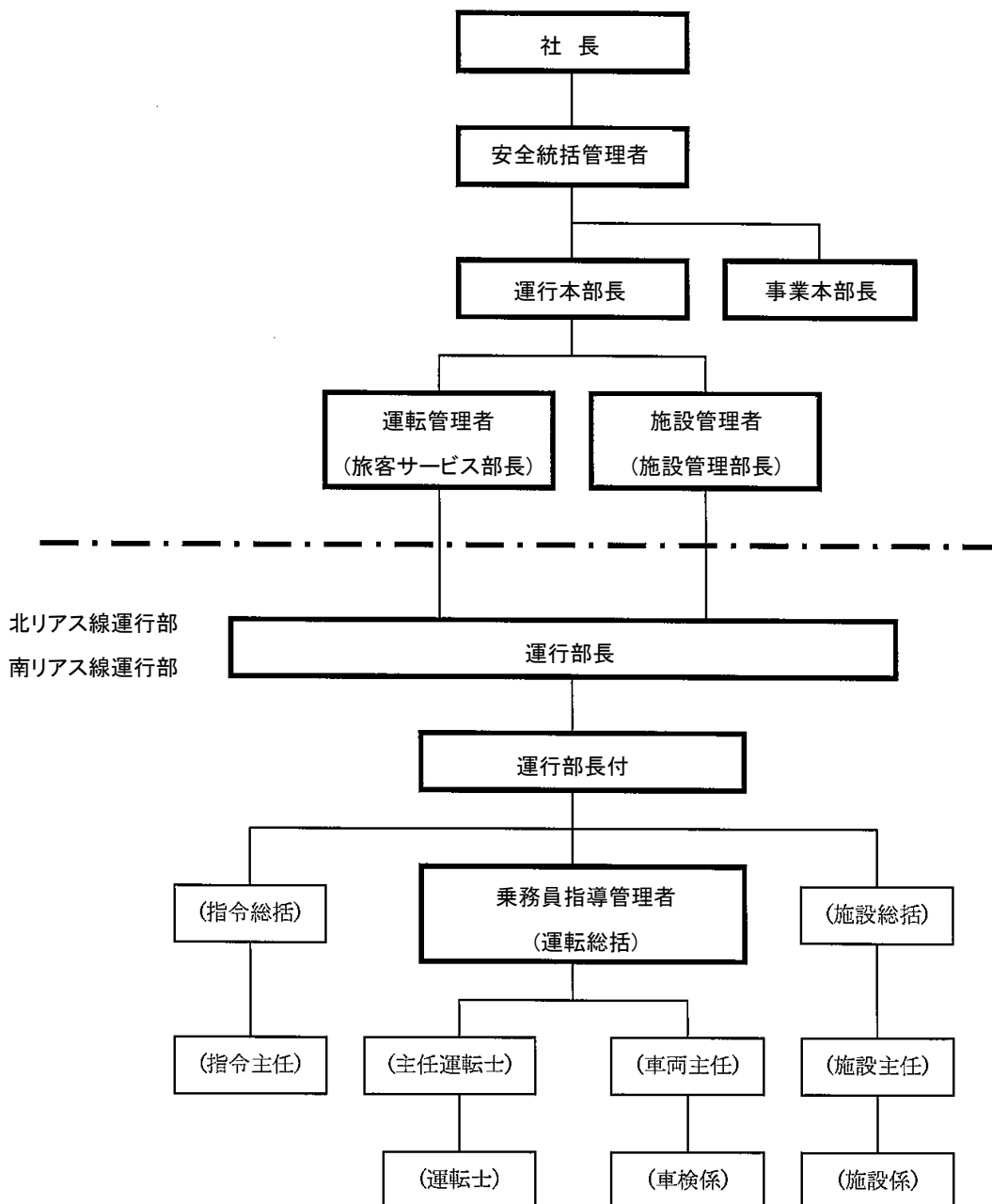
3 安全管理

3-1 安全管理体制

安全管理規程において、輸送の安全を確保するための社内の体制は安全管理体制図のとおりとなっています。

社長が選任した安全統括管理者のもとに運転管理者並びに安全を確保するための各部門の責任者を定め、その役割や権限等を定めています。

安全管理体制図



3-2 安全管理方法

○安全管理委員会

安全管理委員会規則に基づき、社長・安全統括管理者・運転管理者ほか運行の安全に関する社員により構成された安全管理委員会を年に4回（4月、7月、10月、1月）開催します。

○安全基本方針の掲出

安全管理規程第2条に規定する安全基本方針を全職場に掲出することにより安全意識の徹底を図ります。

○トップによる現場巡回

社長による全社員の面接を実施します。

実車による異常時訓練、年末年始の安全総点検等において社長、安全統括管理者等の現場巡回を1年に3回以上実施します。

○ヒヤリハット事例の収集

ヒヤリハット（事故には至らなかったものの危険だと感じた事象）の報告様式を定め、社員からの報告を積極的に収集し安全管理委員会等で改善策の検討を行い、事故の未然防止に努めるとともに、安全に対する意識の向上を図ります。



経営トップの異常時訓練会
視察状況

4 安全重点施策

4-1 保安・防災対策

項目	内容	事業費
枕木の更新	老朽化対策として、木枕木437本の同種更新を行いました。	1,239万円
レール締結装置の更新	老朽化対策として、レール締結装置5617組の更新を行いました。	817万円
分岐器の部分更新	老朽化対策として、分岐器3組のトングレー、リードレール、基本レールの部分更新を行いました。	373万円

4-2 車両の安全性向上

項目	内容	事業費
A T S等の改良	車両2両の自動列車停止装置（A T S）の改良を実施し、車両運行の安全性を向上させました。	1,200万円

5 安全対策の実施状況

5-1 防災対策

○強風対策

南リアス線4箇所、北リアス線4箇所の合計8箇所の風速計で風速を監視し、瞬間風速20m/s以上で25km/hの徐行運転を行い、瞬間風速25m/s以上で列車の運転を見合わせています。



三杯式風速計と防風柵



風速監視装置

○降雨対策

南リアス線2箇所、北リアス線3箇所の合計5箇所の雨量計で時間雨量、連続雨量を監視し、区間ごとに規制値を定め徐行又は運転見合わせを行っています。

河川の増水に対しても基準を設け、列車の安全を確保しています。



雨量計



雨量監視装置

○地震対策

南北リアス線各1箇所の地震計で揺れの加速度を測定し、40gal以上で運転を見合わせています。また震度4以上になった場合も運転規制を行っています。



地震計



地震警報器

※南リアス線では防災設備も被災したため、復旧工事を進めています。

5-2 社員教育

○定例勉強会

年間計画で毎月のテーマを定め、勉強会を実施しています。

○異常時対応訓練

1年に1回(主に6月頃)列車火災、大地震、信号故障等の異常時を想定した実車を使用した訓練を実施しています。

平成24年度は震度6弱の地震が発生し大津波警報が発令されたという想定のもと「地震・津波発生時の運転取扱い訓練」を実施しました。

南リアス線は列車の運転ができないため、北リアス線において南北合同での訓練会を行いました。

実施日：6月26・27・28・29日



集合点呼



地震発生、指令との打合せ



避難ハシゴ設置



乗客降車



指定避難場所への避難



反省会

5-3 その他

○津波防災マップの掲出

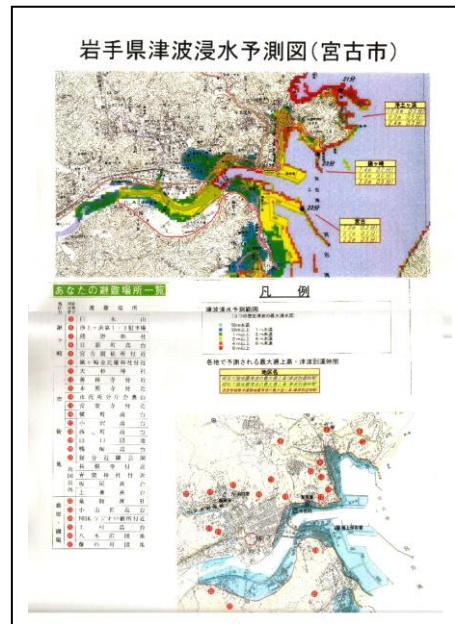
各駅に津波防災マップを掲出し、お客様に津波発生の際の避難箇所等をお知らせしています。

○こども110番

トラブルに巻き込まれた児童救済のための緊急避難協力所として南リアス線で4駅、北リアス線で8駅に「こども110番」を設置しています。



「こども110番の駅」ステッカー



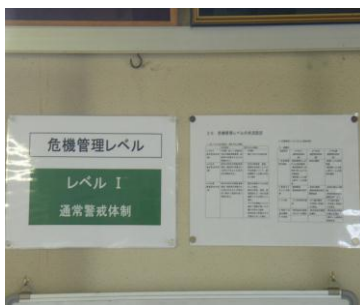
津波浸水予測図（宮古市）

○交通安全運動への参加

交通安全運動へ積極的に参加し、駅前などでのPR活動、踏切の安全通行に関する啓発活動などを行っています。

○テロ対策

- ・危機管理レベルを設定し、車内に掲出しています。
- ・駅、車内等に不審物発見時の対応チラシを掲出し、お客様に注意を促しています。
- ・盛駅、釜石駅、宮古駅、久慈駅に防犯カメラを設置しています。



危機管理レベルの掲出状況



車内チラシ掲出状況



防犯カメラ設置状況

6 輸送の安全の実態

6-1 運転事故等の発生状況

- 運転事故（列車火災、脱線等）の発生件数 0件
- インシデント（事故の恐れがある状況）の発生件数 0件
- 輸送障害（列車の運休又は30分以上の遅延）の発生件数
 - ・車両又は設備が原因のもの 4件
 - ・大雨、強風、地震が原因のもの 10件
 - ・列車支障 1件

6-2 災害等の発生状況

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被害を受けた線路・車両については、関係機関と連携を取りながら、平成26年4月の全線運転再開を目標に復旧作業を行っています。

ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしておりますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

南リアス線 盛駅～吉浜駅間復旧工事の状況

甫嶺駅付近

泊地区



7 お客様とのコミュニケーション

○当社ホームページにおいて会社概要、列車時刻、運賃などをご案内しています。

ホームページアドレス <http://www.sanrikutetsudou.com>

○南リアス線、盛駅、釜石駅、北リアス線、宮古駅、久慈駅に声の箱を設置して、お客様からのご意見を頂戴しています。

平成 25 年 7 月

三陸鉄道株式会社

〒027-0076 岩手県宮古市栄町 4 番地

Tel 0193-62-8900

Fax 0193-63-2611